



## Machiko Shimada

島田 真千子 ヴァイオリン

東京藝術大学を首席で卒業後、渡独。2005年ドイツ・デトモルト音楽大学を最優秀で卒業、その後同大学院にてドイツ国家演奏家資格を取得。これまでに、第7回日本モーツァルト音楽コンクール第1位、第66回日本音楽コンクール第2位、第45回パガニーニ国際ヴァイオリンコンクールで特別賞、デトモルト音楽大学DAAD賞コンクール優勝、エリザベート王妃国際コンクールセミファイナリスト、第15回J.S.バッハ国際コンクール第5位などのコンクール歴がある。

また1998年以降、毎年サイトウキネンオーケストラのメンバー。セントラル愛知交響楽団ソロコンサートマスター、水戸室内管弦楽団団員。現在NPO法人イエローエンジェルより、G.B.ガダニーニが1769年に製作した楽器を貸与されている。



## Jun Iwasaki

岩崎 潤 ヴァイオリン

アメリカイリノイ州及びテキサス州で育ち、5歳よりヴァイオリンを始める。クリーブランド音楽院に入学し、クリーブランド交響楽団のコンサートマスター、ウィリアム・ブルーソー氏に師事。4年制学部を終了後、同院のコンサートマスターアカデミーに進み、ディプロマを取得。在学中にはオハイオ州のカントン交響楽団のコンサートマスターを務め、また、ニューヨークを基盤に活動しているセジョン・ソロイスツの首席奏者の一人として、アメリカ各地及び、アジア各国で演奏旅行を行う。大学院卒業と同時に25歳で、オレゴン交響楽団のコンサートマスターに就任、4年間務めた後、2012年よりテネシー州ナッシュビル交響楽団コンサートマスターとなり、現在に至る。ナッシュビルでは2013年よりヴァンダービルト大学で後進の指導にも当たっている。また、2013年の夏にはブレバード・フェスティバルオーケストラのコンサートマスターに任命された。



## Yukiko Ogura

小倉 幸子 ヴィオラ

奈良市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始め、京都市立芸術大学にて木村和代氏に師事。卒業後、神戸市室内合奏団のヴァイオリン奏者を務めたのちヴィオラに転向し、店村眞積氏のもとで研鑽を積む。その後サイトウキネンフェスティバル松本、長岡京室内アンサンブルなどの活動に関わる中で、国内外の多数の音楽家から薫陶を受ける。

2000年、渡米。ルーズベルト大学シカゴ音楽院で室内楽を森悠子氏、ヴィオラをLi-Kuo Chang氏に学ぶ。翌年、シカゴ交響楽団に入団。またユーシア弦楽四重奏団のメンバーとして参加した全米フィッショフ室内楽コンペティションで優勝。オーケストラ活動の傍ら、室内楽奏者としても活躍する。2014年秋ロンドンへ拠点を移し、2015年5月よりフィルハーモニア管弦楽団のヴィオラ副首席に就任した。



## Sumire Kudo

工藤 すみれ チェロ

東京出身、マンハッタンに在住。アメリカでアヴァロン・クアルテットのチェリストとして6年間の活動後、現在はニューヨークフィルハーモニックのチェロ奏者としてニューヨークを中心に活躍中。桐朋学園大学を経て、ジュリアード音楽院をアーティストディプロマを得て卒業。同音楽院ではジュリアード・クアルテットのアシスタントとしても活躍した。

1993年第62回日本音楽コンクールで第2位。2005年には小澤征爾氏と堤剛氏の推薦により、第4回「斎藤秀雄メモリアル基金賞」を受賞した。サンタフェ、ラホヤ、ノーフォーク、マールボロ、各音楽祭等に出演。東京クアルテット、リサ・バティアシュヴィリ、ヒラリー・ハン、デイヴィッド・フィンケル等との共演など、室内楽奏者としても活躍している。

## Concert Series 3rd Season

スケジュール

vol. 2

ポール・ペシュティ  
ヴィオラリサイタル

(シュトゥットガルト放送交響楽団首席ヴィオラ奏者)

ピアノ 仲松 尚子

2017.9.1 (金)

浦添市てだこホール  
小ホール

vol. 3

ヴェリタス弦楽四重奏団  
Veritas String Quartet

ヴァイオリン 島田真千子 ヴィオラ 小倉幸子  
ヴァイオリン 岩崎潤 チェロ 工藤すみれ

2017.12.28 (木)

パレット市民劇場

vol. 4

宮田 大  
チェロリサイタル

ピアノ ジュリアン・ジェルネ

2018.2.12 (月・祝)

うるま市民芸術劇場  
響ホール